

# かしわもち



きゅうしょくゆうびん  
松本市学校給食センター

ごがついつか たんご せつく たんご せつく わざわ お いの こ  
五月五日は端午の節句です。端午の節句には、災いが起こらないよう祈ったり、子どもが  
すこ 健やかに育つことを願い、お祝いをします。

このひには、「こいのぼり」や「かぶと」をかざったり、「しょうぶ湯」にはいったりする  
ふうしゅう 風習があります。



たんご せつく  
端午の節句には、かしわもちなどのお菓子を<sup>かし つく た</sup>作って食べます。



## かしわもち

じょうしん こ こめ こな  
上新粉(米の粉)でつく  
ったもちを<sup>ひら</sup>平たく<sup>の</sup>伸ば  
し、あんこを<sup>つつ</sup>包んで  
<sup>ふた</sup>二つ折りにし、かしわの  
<sup>は</sup>葉でつつんだもの。

かしわの<sup>は</sup>葉は、  
<sup>あた</sup>新しい<sup>め</sup>芽が<sup>で</sup>出ないと  
<sup>ふる</sup>古い<sup>は</sup>葉が<sup>お</sup>落ちないことから、  
「あとつぎが<sup>と</sup>途絶えない」  
<sup>えんぎ</sup>縁起が<sup>よ</sup>良い」とされています。



かんさいちいき  
関西地域で

おも た  
主に食べられているちまきは  
ちゅうごく  
中国からやってきました。